

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

課名		長寿支援課	事業No.	91
会計		一般会計		
事業区分		政策	実施区分	継続
開始			終了	
事務事業名		短期的入所特別拡大事業		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			高齢者福祉計画・介護保険事業計画
	法令・例規等			
事業目的		対象	要介護高齢者で認知症があり、独居又は高齢者世帯の人	
		意図	冬期間の生活の場の確保	

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	認知症独居高齢者、高齢者世帯の方で、冬期間在宅生活することが著しく困難であったり、要介護状態が著しく悪化するおそれがあり、かつ福祉施設等の利用ができない方に対し、冬期間の生活の場としてショートステイを確保しました。ケアマネジャーなどから相談を受け、在宅生活を続けるために介護保険、その他サービスの活用と合わせアドバイスを行いました。 令和2年度は、当事業の申請はありませんでした。		短期的入所特別拡大事業委託料				0				
		その他の経費				0					
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	短期的入所特別拡大事業利用者	人	2	1	2	2	2	1	2	0	
	短期的入所特別拡大事業利用日数	日間	42	5	42	6	42	3	42	0	
2年度決算(千円)	予算額		293		特定財源内訳及び補足事項						
	決算額		0								
	財源の状況	国庫支出金		0							
		県支出金		0							
		地方債		0							
		その他		0							
一般財源		0									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	3	1	4	14	3	293	0	短期入所特別拡大事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	・冬期間に在宅での生活が困難な方の支援のために引き続きショートステイを確保する必要があります。
上記の課題解決のための有効策	・冬期間の在宅生活困難者の情報をケアマネジャーと共有し、支援が必要な方への確実な利用に繋がります。
次年度に向けての取り組み	・引き続きショートステイを確保するとともに、適切な運用を行います。